

生物教材と校外指導研究会記録

春 名 利 雄

- 場 所 六甲山高山植物園
- 会 期 8月22日(月)～24日(水) 2泊3日
- 参加者 金沢 竜(加古川西高校)
河合 明(神戸親和高校)
竹安 一幸(水上市中央小)
芦田 泰嗣(")
田中 兼治(西脇高校)
小坂 芳郎(相生産業高校)
梶田 耕造(県立州本高校)
石上 晃(")
内海 功一(佐用郡三土中)
大河 孝(水上市新井小)
森脇千代蔵(黒田庄第一小)
笹倉 寿己(")
田中 修二(八鹿高校)
竹内 才子(尼崎大庄東中)
北川 訓子(宝塚第一小)
一色 八郎(明石山手小)
森 為三(武庫川学院図書館)
坂本 淑子(頌栄短大)
山内 信慧(")
竹中 茂(常盤女子高校)
渋谷 久雄(明石高校)
谷口 博(神戸妙法寺小)
増田 竜昭(" 飛松中)
渋谷 竜二(" 神戸商業高)
江越千代子(" 無職)
佐藤 茂樹(" 滝川高校)
春名 利雄(" 宮本小)
藤本 俊彦(" 葺合中)
室井 緯(" 兵庫高)
岡村 はた(" ")
当津 隆(" 夢野台校)
赤穂 重雄(" 中道小)
林 中元(" 市立教育園)
山垣内勝美(" 二宮小)

○日 程

第1日 午前10時係役員集合、打合わせをした。

正午集合、宿舎割当、日程発表などのため高山植物園の林間学舎で全員打合わせをした。開会のあつまり、午後1時30分にはじめのつどいをして、森会長のあいさつ、北村植物園長のあいさつがあつた。気温27°という汗しらずの涼しさである。

野外採集(1.40～5.00)にでかけた。植物園から西へ記念碑をへて六甲山小学校、ゴルフ場と巡回した、室井先生の植物、佐藤先生の鉱物の話などをきいた。とりわけ「いぶぎ」の背日性についての話、六甲山の石英の結晶についての話は印象的であつた。ゴルフ場のにぎわいの中に秋風にゆれる「まつむしそう」のすんだ青紫色は美しかった。

夕食はビール付というすばらしさ、夜はスライドを中心にした講義で初日から息もつかぬ熱心さを示した。

北村先生の高山植物のカラーズライド(30分間)赤穂先生のきのこの自作カラーズライド(30分間)等の美しさと内容の豊富さに満足感をもつことができた。更に戸沢先生の「がの斑紋」についての講義(1時間)は標本や実演やスライド利用など、熱心な講義であつて、さきほどのビール気げんもふつとぶほどのもの……?であつた。

10時の声とともに音もなく濃いガスがしのびより、10mの電燈もおぼろの高山ぶりを發揮していた。これは翌朝8時までつづいて、いわゆる雲の中の一夜であつた。

第2日

早朝(5時すこし前)起床、電燈に集まるがの採集にでかけた。参加者20人、長柄の昆虫網をかついで朝めし前の5km採集行。ケーブル山上駅の大ネオンに集まった「が」の大群は何百、千何百という盛観、4mの捕虫網のとどく限り採集して大成功を収めた。指導は戸沢先生。

講義は8.00～12.00まで戸沢先生の「がの分類について」。室井先生の「茎について」の話があり、本講習会の山をつくつたという感じをうけた。

午後(1.00～4.30)の野外採集は昨日と反対に東方地獄谷、紅葉谷方面、林先生、室井先生、渋谷先生北村先生等の指導で収穫が多かつたがとりわけ「ブナの大木が1000mの指標樹である」という話は、約1000mの六甲山上と結びつけて頭にきざまれたものである。

懇親会(5.30～8.30)はカンツリーハウスでおこなわれた。今日もビール付きで気分をやわらげてくつろいだ会であつた。自己紹介では「チョンガ」「リンチョン」など老若うちとけなごやかな会であつた。名所十国展望台に乗って幸運の百万ドル夜景にしばらくは寒さも忘れるなど……。珍らしく化石の佐藤

85ページへ続く

132ページより

茂樹先生ブランコに乗って大口をあけていた。
宿舎では森先生、北村先生など入りまじって夜ふけ
まで談笑した。

第3日

園内案内と講義(8.00~12.30)最近テレビで世評
を高めたヒマラヤ、ブータンの植物園とその苗園を
見学、北村先生案内、ヒマラヤの3000~4000mの高
所の植物の種がここで発芽成長しているように、
一見ふみつけそうな植物の意味がよく解かり改めて
見なおす。とりわけ此の方面の栽培のベテラン当園
の芝田音吉さんの苦心談など有益であつた。

室内にかえつて森先生の「生物の進化と地質時代」

(1時間)。赤穂先生の「キノコの教材としての扱
かい方」(30分間)。この頃、音もはげしく外は雨
降りとなつた。

佐藤先生の「六甲山の地質」(50分間)江越千代子
氏の「植物と文学」(20分間)当津先生の「緑の正
体について」(20分間)谷口先生の「学級園の新らし
い経営」(20分間)と豊富な研究発表があり定刻よ
りオーバー気味に無事終了した。

閉会のあつまり、午後0時30分全日程を終了森会長
山垣内勝美先生の会場に対する感謝のことばがあつ
た。昼食後解散